

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2002-257830 (P2002-257830A)
 【公開日】平成 14 年 9 月 11 日 (2002.9.11)
 【出願番号】特願 2001-397708 (P2001-397708)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 33/53
 C 1 2 M 1/00
 C 1 2 M 1/34
 C 1 2 N 15/09
 G 0 1 N 1/28
 G 0 1 N 33/566
 G 0 1 N 37/00

【F I】

G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/53	T
C 1 2 M	1/00	A
C 1 2 M	1/34	Z
G 0 1 N	33/566	
G 0 1 N	37/00	1 0 2
G 0 1 N	1/28	J
C 1 2 N	15/00	F

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 5 月 11 日 (2004.5.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

液体中に含有される核酸試料を処理する方法であって、
該方法は、

(a) チップ形状キャリア 14 を有するカートリッジ 12 の室 11 の中に前記液体を導入する段階であって、キャリア 14 の活性表面 15 がオリゴヌクレオチドのアレーを保持し、室 11 が狭い内部を持っていて、室 11 の 2 つの内部表面の間に構成されるチャンネル 13 を備えている前記導入段階、及び

(b) カートリッジ保持器 16 の中にカートリッジ 12 を配置する段階、
を含み、

該方法は、

活性表面 15 が実質的に鉛直な面になり、カートリッジ保持器 16 の中のカートリッジ 12 の前記配置が、室 11 の中に前記液体を導入する前又は導入した後に実行されること、及び該方法が

(c) 鉛直な面に対して実質的に垂直である回転軸の周りにカートリッジ保持器 16 を振動させ、そうすることによって、カートリッジ 12 を該回転軸の周りに振動させ、そうすることによって、カートリッジ 12 を第 1 の角度位置 26 と第 2 の角度位置 28 の間で左右に運動させる段階であって、第 1 の角度位置 26 及び第 2 の角度位置 28 がそれぞれ中

間の角度位置 2 7 を挟んで向かい合っており、中間の角度位置 2 7 においてチップ形状キャリア 1 4 の活性表面 1 5 が、チップ形状キャリア 1 4 の活性表面 1 5 に関する、チャンネル 1 3 中に入っている液体の相対的運動を引き起こすために、カートリッジ 1 2 の前記振動運動によって引き起こされる、活性表面 1 5 の運動の経路の実質的に最も低い部分となる前記段階、

を更に含むことに特徴を有する、

上記処理方法。

【請求項 2】

液体中に含有される核酸試料を処理するシステムであって、

該システムは、

(a) (a . 1) オリゴヌクレオチドのアレーを保持する活性表面 1 5 を持つチップ形状キャリア 1 4 であって、活性表面 1 5 がカートリッジ 1 2 の一部分 2 1 の内部表面 2 4 と向かい合っている前記キャリア 1 4、及び

(a . 2) 狭い内部を持ち且つチャンネル 1 3 を備えている室 1 1 であって、チャンネル 1 3 の一部分が活性表面 1 5 と内部表面 2 4 の間に置かれている前記室 1 1、

を備えているカートリッジ 1 2、及び

(b) カートリッジ 1 2 を保持するのに適合しているカートリッジ保持器 1 6、

を含み、

該システムは、

活性表面 1 5 が実質的に鉛直な面になること、及び該システムが

(c) 鉛直な面に対して実質的に垂直である回転軸の周りにカートリッジ保持器 1 6 を振動させ、そうすることによって、カートリッジ 1 2 を該回転軸の周りに振動させ、そうすることによって、カートリッジ 1 2 を第 1 の角度位置 2 6 と第 2 の角度位置 2 8 の間で左右に運動させる手段であって、第 1 の角度位置 2 6 及び第 2 の角度位置 2 8 がそれぞれ中間の角度位置 2 7 を挟んで向かい合っており、中間の角度位置 2 7 においてチップ形状キャリア 1 4 の活性表面 1 5 が、チップ形状キャリア 1 4 の活性表面 1 5 に関する、チャンネル 1 3 中に入っている液体の相対的運動を引き起こすために、カートリッジ 1 2 の前記振動運動によって引き起こされる、活性表面 1 5 の運動の経路の実質的に最も低い部分となる前記手段、

を更に含むことに特徴を有する、

上記処理システム。

【請求項 3】

液体中に含有される核酸試料を処理するためのカートリッジであって、

該カートリッジは、

(a) オリゴヌクレオチドのアレーを保持する活性表面 1 5 を持つチップ形状キャリア 1 4 であって、活性表面 1 5 がカートリッジ 1 2 の一部分 2 1 の内部表面 2 4 と向かい合っている前記キャリア 1 4、

を含み、

該カートリッジは、それが

(b) 狭い内部を持ち且つチャンネル 1 3 を備えている室 1 1 であって、チャンネル 1 3 の一部分が活性表面 1 5 と内部表面 2 4 の間に置かれている前記室 1 1、を更に含むことに特徴を有する、

上記カートリッジ。